

平成 30 年度 膨脹式救命胴衣等整備技術 研修会 実施要領

(一社) 日本船舶品質管理協会

1. はじめに

当会では平成 21 年以降、膨脹式救命胴衣等整備技術講習会を膨脹式救命胴衣メーカー等と共同で開催し、膨脹式救命胴衣等整備技術者を養成・認定してきました。今年度は、平成 26 年度第 4 回講習会で資格を取得された方及び平成 26 年度第 2 回研修会で更新された方の技術者証の有効期限が平成 31 年 3 月 31 日までであることから、これらの方々を対象に技術者証を更新するための研修会を実施することとします。

2. 研修会の概要

(1) 研修会は、学科講習及びメーカー各社の実技講習を受けていただきます。

(2) 研修会は、1. 5 日間です。

研修日程は、別紙をご覧ください。

(今回は、関係基準の改正に伴い、対象となる膨脹式救命胴衣等及び膨脹装置の種類が増加したため、実技講習の時間を多くとっています。)

(3) 学科講習は、膨脹式救命胴衣等の概要及び関係規則等（特に、前回講習会時以降の変更）について講義を行います。

実技講習は、各メーカーが定めている点検・整備の要領（特に、前回講習会時以降に承認された物件）を主体に、メーカー毎に講習を行います。

※対象メーカー等：

アール・エフ・ディー ジャパン(株)、興亜化工(株)、高階救命器具(株)、
東洋物産(株)、日本救命器具(株)、日本船具(株)、藤倉航装(株)、
藤倉ゴム工業(株)、(株)ワコー産業

3. 開催期日

平成 30 年 10 月 9 日（火）～ 10 日（水）

4. 開催場所

東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館

(所在地：東京都江東区越中島 2-1-6)

(ホームページアドレス：<http://www.kaiyodai.ac.jp>)

5. 受講資格

現在有効な膨脹式救命胴衣等整備技術者証をお持ちの方

6. 募集人数

30 名

7. 申込期限

平成30年8月17日（金）必着

8. 受講手続き

次の手順で行ってください。

(1) 講習会参加申込書の提出

所属会社（事業場）の責任者は、講習会参加申込書に必要事項を記入の上、8月17日（金）（必着）までに、当会あてFAXで提出してください。

(2) 受講可否の連絡

申込書を受理した後、受講資格等を審査、調整のうえ、8月24日（金）までに、当会から所属会社（事業場）の責任者に受講の可否を文書（FAX）で通知します。

(3) 受講料等の振込書の写し及び写真の提出

当会から、受講可の通知があったときは、所属会社（事業場）の責任者は、9月10日（月）（必着）までに、当会あて次の書類等を郵送で提出してください。

① 受講料の振込書の写し

受講料については、「9. 受講料等」を参照してください。

なお、期限を過ぎても提出がなかった場合には、受講申込みを辞退されたものとさせていただきますのでご了承ください。

(4) 受講票の送付

(3) の受講料等の振り込みが完了したときは、当会から所属会社（事業場）の責任者経由で、受講者に受講票を送付します。

9. 受講料等

(1) 受講料

23,657円

（指導書代、技術者証更新手数料及び消費税を含みます。）

(2) 受講料の振込先

受講料は、次の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は申込者にて負担をしてください。

三菱UFJ銀行 東京公務部（店番号：300）普通預金口座 630

受取人名義： 一般社団法人日本船舶品質管理協会

「 シヤ) ニホンセンパクヒンシツカンリキョウカイ 」

10. 受講に当たっての留意事項

(1) 宿泊については、受講者側で手配してください。

(2) 受講者は、作業服及び手袋を必ず持参してください。

(3) 受講日当日、受講票を受付にご提出ください。

11. 技術者証の更新等

研修会終了後、次により技術者証が更新されます。

- a. 研修会を受講し、所定の技量を有するものと認められた受講者を引き続き膨脹式救命胴衣等整備技術者として、当会の技術者名簿への登録を更新します。
- b. 更新した「技術者証」を膨脹式救命胴衣等整備技術者に交付します。
更新後の「技術者証」の有効期限は、更新前の有効期限の4年後の2023年3月31までになります。
ただし、既に更新後の技術者証を交付されている方を除きます。

12. 参加申込書の送付先及び問い合わせ先

一般社団法人 日本船舶品質管理協会
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 第7東ビル9階
TEL : 03-3253-6201 FAX : 03-3253-6204
E-mail: jsmqa@coral.ocn.ne.jp URL: <http://www.jsmqa.or.jp>
(担当 : 山本、赤津)